

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 「睡眠時無呼吸症候群」

大 野 聡 史

(おおの耳鼻咽喉科 院長)

#### ■ごあいさつ

今春より新たに浪速区医師会のメンバーになりました「おおの耳鼻咽喉科」院長の大野聡史(おおの もとふみ)です、よろしくおねがいします。平成24年4月11日、JR難波駅・地下鉄四つ橋線なんば駅近くに耳鼻咽喉科クリニックを開院させていただくことになりました。

浪速区のこの地で生まれ育ち、大阪市立大国小学校・木津中学校を母校とし、私立東大寺学園・大阪市立大学医学部を卒業しました。小中高校と空手・水泳を続けていましたが、大学で念願だった医学部ラグビー部に入り6年間ラグビーに打ち込み、いい仲間達と出会い、大いに青春を謳歌しました。大学入学時

に細めだった体も卒業する頃には20kg以上増え、いかにも“ごっつい”体に変貌してしまいました。よくフォワードと間違われますが、これでもバックスリーダーでスクラムハーフやスタンドオフをやっていました。卒業後は大阪市立大学医学部付属病院耳鼻咽喉科に入局し、研修医・研究医を経て、大学院では特に睡眠時無呼吸症候群や喉頭疾患を専門分野とし取り組んで参りました。

“みみ・はな・のど”に関する疾患の診断・治療はもとより、睡眠時無呼吸症候群、めまい・難聴や補聴器のご相談まで安心して受診していただける地域の“かかりつけ医”として、日々努力し、まい進していく所存でございます。どうぞよろしくおねがいいたします。

#### ■睡眠時無呼吸症候群(SAS)の診療

それでは、今更かかもしれませんが、睡眠時無呼吸症候群(SAS)について基本的なところを記述いたします。最近ではあまりマスコミなどに取り上げられなくなり、患者さん本人も危機意識が薄くなり受診率が減っていますが、潜在的にはかなりの患者さんがおられます。



睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは睡眠中に呼吸が止まる(無呼吸)、または浅く・弱くなり(低呼吸)、それによってさまざまな日常生活に障害を引き起こす疾患です。最近ではSASが循環器疾患との深い関わりがあることが明らかになってきています。また、高血圧や糖尿病などの合併も高率にみられ、心筋梗塞・虚血性心疾患や脳梗塞のrisk factor にもなっています。

SASの病態には大きく分けて中枢型とそれ以外の閉塞型(末梢型)および混合型の3タイプあります。その多くは上気道が塞がる、または部分的に狭くなる事で起こる閉塞型睡眠時無呼吸症候群です。夜間に繰り返し起こる無呼吸・低呼吸により、血中酸素飽和度が低下し、頻繁に中途覚醒が発生し身体に悪影響をおよぼすとともに睡眠障害となり日中の眠気を増加させます。

一般的にSASの重症度をAHI(Apnea Hypopnea Index)=無呼吸低呼吸指数で表すことが多く、これは1時間あたりの無呼吸・低呼吸の発生する回数を意味します。このAHIが5回以上認められ日中の眠気等症状がある場合にSASと診断され、その程度により軽症・中等症・重症と診断されます。

症状としては、強いいびき、中途覚醒、日中の眠気・倦怠感、熟睡感の欠如、集中力の低下、起床時の頭痛・頭重感などがあります。

耳鼻咽喉科での一般的な診察の流れとしては、詳細な問診(本人とベッドパートナーに対し)を行い、喉頭電子スコープ検査・レントゲン検査での上気道・顔面形態の観察をします。次に簡易アプノモニター検査(スクリーニング検査)や必要に応じてPSG検査を行い、診断・治療となります。

治療は、一般的には、生活習慣に関する指導(ダイエット・体位の工夫ほか)と、内科的治療、外科的治療、歯科装具に大別できます。

当科ではまずは生活習慣に関する指導を行い、重症患者には内科的治療のCPAP療法の導入をおすすめします。場合によっては手術(鼻副鼻腔手術や扁桃摘)＋CPAP療法というケースもあります。

ご存知の通り、SAS重症と診断されればCPAP療法は保険診療の適応となります。SAS患者さんやその疑いのある患者さんを診察・フォローされた際は、一度耳鼻咽喉科での受診をおすすめいたします。ご相談ください。

#### ■プロフィール

##### ● 医学博士

●日本耳鼻咽喉科学会認定 耳鼻咽喉科専門医  
平成10年3月 大阪市立大学医学部卒業  
平成10年5月 大阪市立大学医学部附属病院  
耳鼻咽喉科入局  
平成12年5月 大坂市立北市民病院(大阪市立  
総合医療センター兼務)勤務  
平成13年4月 大阪市立大学医学部大学院耳鼻  
咽喉病態学博士課程



## 理事会報告



◎平成24年度9月第1回定例理事会

日 時 平成24年9月14日〈金〉

午後2時～3時

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. 役員専用メーリングリストの導入について  
＜佐久間会長＞  
メーリングリストを導入し、理事会の案内、出欠、役員の情報交換等を行ないたい。役員専用メーリングリストの導入について協議願いたい。

協議の結果、了承。

メールアドレスの登録は2個までとし、一つは添付文書が見られるメールアドレスを登録することとした。

2. 日本橋小学校の内科校医について  
＜佐久間会長＞  
宮原史郎先生の辞任に伴い、後任の校医として川田理事を推薦したい。

協議の結果、了承。

宮原史郎先生 9月30日付辞任  
川田理事 10月1日付就任となる。

3. 下半期中央急病診療所出務医師割当について  
＜原田理事＞  
標記診療所への出務医師割当について資料のとおり案をまとめた。協議願いたい。

	日 程	時 間	出務医師名
平成24年	11月10日 土	深夜22:00～30:00	久保田泰弘
	12月19日 水	深夜22:00～30:00	前田 泰久
平成25年	1月5日 土	準夜17:00～22:00	佐伯 裕司・西平 香代
	1月6日 日	深夜22:00～30:00	笹岡 英明
	3月10日 日	準夜17:00～22:00	小池 洋志・松崎 智彦
	3月22日 金	深夜22:00～30:00	中山 博文

4. 敬老の日(9月17日〈月・祝〉)について  
＜岡藤理事＞  
敬老会員への贈呈品を協議願いたい。今年度の敬老会員は22名である。

協議の結果、昨年同様、1人5,000円分の図書カードを贈ることに決定。

5. 平成24年度大阪府転退院調整・在宅医療円滑化ネットワーク事業について

＜金田理事＞

この事業は、在宅医療の円滑な推進を図るため、転退院や在宅医療に関する事業の企画、立案、実施、評価等を行う連携拠点を中心としたモデル事業の実施を目的としている。

本会では、ブルーカード事業、在宅医療連携ネットワークがすでに稼働していることから、この事業に応募したい。

事業名 ブルーカード在宅プロジェクト  
事業実施期間 助成金の交付決定の日から平成25年3月末まで

助成額 事業執行にかかる所要額が助成

協議の結果、了承。

6. その他  
なし。

### 報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について  
(8月31日〈金〉) ＜佐久間会長＞  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷会長挨拶  
▷連絡事項  
(1)「大阪府転退院調整・在宅医療円滑化ネットワーク事業」における在宅医療推進モデル事業公募の件  
(2)大阪府歯科医師会「医科歯科介護連携事業」アンケート調査への協力の件  
(3)審査委員選出に関する特別委員会ブロック世話人選出ならびに現職国保

審査委員(療養担当者側)への意向確認依頼の件  
(4)大阪府医師会創立65周年記念行事ならびに平成24年度健老会開催の件  
(5)9月度行事・会合日程の件  
(6)その他  
▷ 協議  
▷ 閉会

(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について  
(9月10日<月>) <佐久間会長>  
次第は次のとおり。  
▷ 連絡事項  
(1)大阪市予防接種の件  
(2)大阪市内各医師会公衆衛生活動事業補助金の件  
(3)大阪市総合健康診査(ナイスミドルチェック)廃止の件  
(4)「大阪市国保請求事務委託料」および「大阪市国保保健施設事業委託費」の件  
(5)大阪市乳幼児医療費助成制度拡充の件  
(6)大阪市小児ぜん息等医療費助成の制度変更に伴う周知の件  
▷ 報告事項  
(1)平成24年度第2回大阪市地域包括支援センター運営協議会(7月17日)報告の件  
(2)第51回十四大都市医師会連絡協議会(7月28日)報告の件  
(3)平成25年度大阪市予算の編成に対する要望(8月30日)報告の件  
(4)その他

(詳細 略)

3. 浪速区三師会について  
(9月8日<土>) <徳田理事>  
天王殿にて開催された。  
出席人数は次のとおり。  
本会7名、歯科医師会8名、薬剤師会8名、合計23名。

4. 健康展実行委員会について

(9月13日<木>) <落合理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 出展内容  
▷ 会場配置(案)について  
▷ 舞台タイムスケジュール(案)について  
▷ 必要物品等について  
▷ 広報について  
▷ その他

(詳細 略)

5. 第35回病診連携委員会について  
(8月27日<月>) <金田理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 第34回病診連携委員会報告について  
▷ ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について(大和中央病院)  
▷ 病診連携委員会のアンケート結果について  
▷ 循環器パスについて(富永病院 氏野先生)  
▷ 「未来医療を考える会」について  
▷ その他

(詳細 略)

6. ナニワ区民まつりについて  
(9月9日<日>) <竹中監事>  
当日は、気温も高く、具合の悪くなった市民が数名(熱中症3名、外傷2名)あった。
7. その他  
なし。



◎平成24年度9月第2回定例理事会

日 時 平成24年9月28日(金)

午後8時～9時10分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 社会保険指導講習会の開催について

＜佐久間会長＞

例年のとおり、標記講習会を開催したい。

協議の結果、了承。

日 程 は、11月28日(水)か29日(木)を候補日として、府医へ講師派遣を依頼することとなった。ちなみに開催時間は午後2時。

2. 本会会員名簿の作成について

＜佐久間会長＞

府医と同様、本会の会員名簿を作成したい。

協議の結果、了承。

今回作成の名簿には、名簿の他に本会の定款を掲載することに決定。  
また、印刷部数は200冊とする。

3. レクリエーションの内容について

＜岡藤理事＞

次のとおり、追加したい。

- ①デザートビュッフェ
- ②パフォーマー

協議の結果、了承。

4. その他

なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について

(9月28日(金))

＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

- ▷ 開会
- ▷ 会長挨拶

▷ 報告事項

(1)在宅医療円滑化ネットワーク検討協議会(9月24日)報告の件

▷ 連絡事項

- (1)大阪府が考える“がん診療ネットワーク”の件
- (2)平成24年度社会保険指導講習会開催依頼の件
- (3)MRワクチン(3期)接種状況の件
- (4)第20回記念泉州国際市民マラソン退会開催に伴う医師派遣の件
- (5)10月度行事・会合日程の件
- (6)その他

▷ 協議

▷ 閉会

(詳細 略)

2. 第3回60周年記念行事検討委員会について  
(9月14日(金))

＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

▷60周年記念式典の内容(出席人数・開催場所)について

▷ その他

(詳細 略)

3. 役員専用メーリングリストについて

＜佐久間会長＞

メーリングリストは、次のとおりに利用する。

- (1)理事会の案内、出欠の回答
  - ①案内には日時・議題を掲載する
  - ②協議内容の詳細が分かっている事項については記載
  - ③欠席の場合には、理由を記載する
- (2)緊急の連絡(震災、慶弔など)
- (3)その他

4. 第1回大阪府医師会 第10ならびに第11ブロック女性医師支援WG合同会議について

(9月19日(水))

＜澤井副会長＞

次第は次のとおり。

▷ 開会

- ▷ 挨拶
- ▷ 出席者紹介
- ▷ 報告

- (1)大阪府医師会 男女共同参画事業実施状況
- (2)第10(大阪市東部)ならびに第11(大阪市南部)ブロックの活動状況
- (3)平成24年度 大阪府医師会 男女共同参画検討委員会 開催状況

- (4)その他

- ▷ 協議

- (1)委員長、委員長代理の選出
- (2)今期の活動方針

- ▷ 次回の予定

- ▷ 閉会

(詳細 略)

- ▷ 次回日程
- ▷ 閉会

(詳細 略)

- 7. その他
- なし。

次回会議 平成24年10月12日(金)午後2時～

#### 5. 救急医療情報交換会について

(9月5日(水)) <久保田理事>

次第は次のとおり。

- ▷ 消防署長の挨拶
- ▷ 出席者紹介
- ▷ 救急概要の説明
- ▷ ガイドライン心肺蘇生法2010
- ▷ 意見交換

(詳細 略)

#### 6. 府医第2回医療情報委員会について

(9月26日(水)) <久保田理事>

次第は次のとおり。

- ▷ 開会
- ▷ 報告事項
- (1)テレビ会議の運用について
- (2)第24回医療情報に関する講演会(平成23年度郡市区等医師会情報システム担当理事連絡協議会)(2月23日)について
- (3)その他
- ▷ 協議事項
- (1)諮問事項について「医療におけるIT活用のあるべき姿について」
- (2)大阪府医療機関情報システムについて
- (3)その他





## 9月度 学術講演会報告

学術担当理事 富永 良子

日 時 9月15日(土) 午後2時  
演 題 「T波の総論」  
講 師 国立循環器病センター  
循環動態制御部  
室長 高木 洋 先生  
出席者数 21名  
共 催 第一三共株式会社  
情報提供 テネリア錠20mgについて  
担 当 富永良子

### T波の定義、成因、正常T波

定義：T波は、心室の再分極に対応する。再分極過程末期(主に第3相、第2相)における再分極過程ばらつきによる電位差(ventricular gradient)、しかし、第2相、第3相の活動電位のほとんどが、心内膜、心外膜の差でキャンセルされている状態。活動電位の成り立ちとイオンチャンネル(Na, K, Ca)に関する理解が必要である。

1 次性のT波異常とは、脱分極過程には関連しない再分極過程のばらつきを示す。

2 次性のT波異常とは、QRS波形の異常に伴うT波の異常をいう。

再分極過程のばらつきの原因は、環境の違い(血流、組織温)、神経支配(自律神経)の違いによる。

ばらつきに注目する理由は、ばらつきの一つの指標であるQT間隔のばらつき(空間的、時間的、dispersion)が、陳旧性心筋梗塞、心筋症などの器質的心疾患症例での予後に関連するため。

T波ベクトルが心内膜側から心外膜側に向く理由

心内膜側の活動電位持続時間が心外膜側のそれに比べ約15msec長い。機械的な収縮パタ

ーンの違いにより心内膜側の組織温が0.56ないし0.6度高い。血流に接している心内膜側に保温効果があり、心外膜側は放熱されていく。以上の理由から、相対的に心内膜側活動電位持続時間が長くなる。このため第3相付近の電位勾配は内側より外側に向く。

### 正常T波

正常T波のベクトルは、心基部から心尖部方向にかけ、V3~6誘導ではT波とQRS波形は同方向となる。

T波は、心臓のポンプ(絞り出す)としての機能による合目的な持続時間を反映している。

### T波の検査法

QT間隔検査法

QT間隔、QTc間隔

現実的な伝導速度と広がりとの関係、時間的に広ければそれだけ、電気の空回りが起こりやすい。全体の時間が長ければ、それだけ、ばらつきが出現する確率は大きい。

### T波形検査法

視覚的なT波の異常

陰性T波、T波高の増高、T波二相性がある。

### T波の異常

一次性T波異常：再分極過程自体が変化し、T波の異常を来す。

QT延長：均一性を保った再分極過程のばらつき、ばらつきの増悪(病的状態)による抗不整脈剤(キニジン、プロカインアミド、ディソピラミド、アミオダロン等)

向精神病薬およびその他の薬剤(Na channel blocker)

電解質異常

低カリウム血症 活動電位第2相、第3相のスロープの減速

ST部分、T波の減高、T、U波癒合

(参考 高カリウム血症 活動電位第3相の

(参考 高カリウム血症 活動電位第3相の  
スロープの先鋭化、心電図T波の先鋭化)

虚血

虚血以外の心筋障害

遺伝性 先天性QT延長症候群

徐脈

QT短縮

### 二次性T波異常

脱分極の変化による再分極過程の異常。通常、T波はQRSベクトルと逆方向を向く。  
左室肥大、右室肥大、右脚ブロック、左脚ブロック、早期脱分極症候群がある。

実際の事例で、高カリウム血症、低カリウム血症の心電図を検討した。

## 11月度学術講演会のお知らせ

11月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：11月17日〈土〉午後2時～

場所：浪速区医師会 会議室

演題：「T波異常の復習、不整脈総論」

講師：千里中央病院 緩和ケア科

相原 直彦 先生

## 第2回湊町地域連携フォーラム

日時 平成24年11月24日〈土〉 午後5時～

場所 ホテルモントレグラスミヤ大阪21F

『スノーベリー』

大阪市浪速区湊町1-2-3

TEL：06-6645-7111

総司会：富永病院 富永 良子 先生

### 《演題1》

富永病院 循環器科

部長 氏野 経士 先生

「循環器専門医だけではない今後の心房細胞治療」

### 《演題2》

富永病院 副院長・神経内科

部長 竹島 多賀夫 先生

「片頭痛診療のトピックスと神経内科疾患の病診連携」

### 《特別講演》

熊本市市民病院

診療部長(神経内科部長・地域連携部長)

橋本 洋一郎 先生

「心原性脳塞栓症の治療・再発予防戦略

—経口第Xa因子阻害薬の役割—」

多数の先生方のご参加をお待ちしております。





## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成24年11月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 三 歳 児 健 診

#### ●保健福祉センター

11月22日〈木〉 13：40～15：30

眼 科 吉野 成泰

耳鼻科 大野 聡史

### B C G 接 種

#### ●保健福祉センター

11月15日〈木〉 14：00～15：30

工藤俊次郎・本田 秀明

### 急病診療所出務

#### ●中央急病診療所

11月10日〈土〉 22：00～30：00

久保田泰弘

#### ●今里急病診療所

11月23日〈金〉 10：00～17：00

池田 秀博・川田 信哉

### 産業医健康相談窓口

#### ●浪速区医師会 14：00～16：00

11月6日〈火〉 竹中 裕昭

11月16日〈金〉 北村 栄作

### 特 定 健 診

#### ●保健福祉センター

11月11日〈日〉 09：15～12：00

北村 栄作

### 社会保険講習会

#### ●浪速区医師会 会議室

11月29日〈木〉 14：00～16：00

演題 最近の指導・監査の動向と保険診療、医療における人権問題について  
～審査上の取扱いを含めて～

講師 大阪府医師会指導担当理事  
高井 康之 先生

### 医師とケアマネジャーとの連絡会

#### ●浪速区在宅サービスセンター2F 多目的室

11月10日〈土〉 15：00～17：00

次第

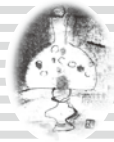
- 1) 浪速区医師会長 挨拶 佐久間靖博
- 2) 参加者紹介
- 3) ブルーカードの現状について  
金田 高次
- 4) 「医師とケアマネジャーとの連絡会」アンケートを基にグループワーク
- 5) 認知症連携シートの説明について
- 6) 認知症相談医の説明について
- 7) 閉会の挨拶 橋村直隆

### 浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。  
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。  
(ときに時間変更される場合もあり)

囲 碁 部 毎月第1・3・5(土)  
(川田信) pm 5：00～





## あとがき

H.H.

今年の夏から秋にかけて、今までになく暑くて、過ごしにくかった。また台風が多く、河川が増水がすることが多かった。と書き出したいところだが、よく思い出してみると、毎年、同じことを感じている。老年期に入り多くの事柄が、新しい体験と感じられるためだろうか？それなら非常に喜ばしいことだが、古女房は、新鮮には感じられない、Why？

巻頭言士 開業おめでとう。

浪速区医師会には長老のK先生をはじめ、ラグビー部出身の先生方が何人かおられます。懇親会などで、ラグビーを肴に話が弾むことでしょう。

SAS(睡眠時無呼吸症候群)に力を入れておられるとのこと、うれしいです。

私も昭和40年代、精神神経科の脳波グループでピックウィック症候群の研究をしたことがありました。(ディケンズのピックウィッククラブと言う小説に、小太りで居眠りばかりしている主人公が出てくる)。当時はSASはほとんど注目されていませんでしたが、最近、高齢者の交通事故の原因の一つとして周知のことです。

私の診療所には、不眠を主訴に来られる患者が多いのですが、過眠症も時折来られます。

ナルコレプシー、過眠を伴ううつ病、不安神経症、そしてSASです。睡眠時無呼吸の患者が「うたた寝」を主訴に来られる事は非常に少なく、「眠気が多い」ことをこちらが疑って問診しなければ見つからない事が多いようです。

高血圧や糖尿病など一般の疾患でかかっている患者で「熟睡感がない」「昼間でも眠気が強い」患者があれば、SASを疑ってみる必要があります。私はSASの疑いがあれば、家族を呼んで「いびきはないか?」「呼吸が止ま

っていないか」を聞くようにしています。引き続き、在宅酸素業者などに連絡して、アプノモニター(簡易睡眠時呼吸検査)を指示します。そうすると、業者が患者を訪問し、夜間の検査をしてくれます。その結果、SASと診断されたら、精査の為、専門医を紹介し、PSG(終夜睡眠時呼吸検査)などをして、治療をしていただいています。SASに関し、専門でない我々一般医家がそこまでやれば、巻頭言士の診療所がさらに繁盛することでしょう。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 目 次

### 巻 頭 言

睡眠時無呼吸症候群	大野 聡史	1
理事会報告(9月開催)		3
9月学術講演会報告	富永 良子	7
11月学術講演会のお知らせ		8
第2回湊町地域連携フォーラム		8
浪速区医師会活動の伝言板		9
あとがき		10

### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博  
編集者 中村泰久 橋村直隆  
印刷所 株式会社 サ ビ